



大会スケジュール

*会場「恵那市岩村コミュニティセンター」にて終日●ポスターセッションを行います。

1日目 13:00 ● 受付開始

13:30 ● 開会式 / 移動

ポスターセッション
＜岩村コミュニティセンター＞

●ポスターセッションとは
会員団体のみなさんが自らの活動を
紹介することです。

14:30 ● フィールドワーク

16:00 ● 移動 / 休憩

16:30 ● 実践者アビールタイム

●実践者アビールタイムとは
会員団体のみなさんが自らの活動を
3分間でアビールする時間です。

17:00 ● 基調講演

19:00 ● 大交流会

*21:00 頃 1日目終了

2日目 8:50 ● 受付開始

9:00 ● 分散交流会

10:30 ● 移動 / 休憩

11:00 ● パネルディスカッション

12:00 ● 閉会式

12:30 ● 大会終了

ポスターセッション
＜岩村コミュニティセンター＞



お問い合わせ先

(一社) ぎふの田舎へいこう 推進協議会 事務局

TEL. 0575-87-0128 Eメール green@gifuina.com

大会用イベントページ *「ぎふの田舎へいこう推進協議会」会員サイトの「各種イベント」にあります。

第15回ぎふグリーンツーリズムネットワーク大会 in えな
開催案内サイト <https://gifuina.com/event/p-13667/>

ご注意

- 雨天決行(ただし、事務局が危険による中止を決定した場合は、前日までに上記ホームページにて発表します。
- ホームページなどで情報を知って参加される非会員参加者の方には、協力金1,000円をいただきます。
- 非会員でも、来年度会費(3,000円)をお支払いいただきご入会いただいた場合は、本年度と次年度大会の参加費は無料となります。
- 体調に不安がある場合は、参加をお控え下さい。



ラ・フォーレ福寿の里「越沢コテージ」(宿泊費 5,500円 / 1人素泊まり：大会会場にて徴収いたします。)

岐阜県恵那市上矢作町漆原1280-9 / TEL: 0573-47-3010 <https://fukujunosato.com/koshizawa/>

*コテージの割り振りは、現地の事情を勘案して事務局が行います。個別のご要望にはお応えできませんので、あらかじめご了承ください。



会場 / アクセス

恵那市 岩村コミュニティセンター

岐阜県恵那市岩村町 1657-1 TEL:0573-43-3722



お申し込み方法

*下記のいずれかの方法でお申し込みください。

1 HPの「申し込み特設サイト」から申し込みください。

「ぎふの田舎へいこう推進協議会」会員サイト「各種イベント」にあります

<https://gifuina.com/event/p-13668/>

2 メールでお申し込みください。

Eメール green@gifuina.com

*メールの件名を「ぎふ GIN 大会申込」としてください。

3 FAXでお申し込みください。

FAX 0575-87-0131

4 申込べ切 第1次べ切：11月17日(月)
第2次べ切：12月1日(月)

*第1次べ切で定員いっぱいになった場合には、第2次の募集はありません。



第1次べ切
2025
11/17(月)

FAX専用申込書

ふりがな	お名前	性別	電話番号	(自宅・勤務先・携帯) ※緊急時につながる番号をお書きください。
住所	(自宅・勤務先)			
所属	※所属団体名、行政機関名、会社名、学校名、職業などをお書きください。			
■下記のうち、参加するものに✓をお付けください。				
☐ 1日目(開会式・フィールドワーク) ☐ 1日目(基調講演)				
☐ 大交流会 (☐ お酒あり:5,500円 ☐ お酒なし:4,500円)				
☐ 宿泊 ※コテージでの相部屋泊となります。(5,500円/一泊素泊まり)				
☐ 2日目(分科会) ☐ 2日目(パネルディスカッション・閉会式)				
■希望する講座を記入してください。 *フィールドワークと分散交流会は連動しています。両方に参加される場合は、同一テーマをお選びください。				
フィールドワーク(1日目)	[第1希望]	[第2希望]		
分散交流会(2日目)	[第1希望]	[第2希望]		
※フィールドワーク、分散交流会の内容は本パンフレット見開きをご覧ください。 ※お申込みされた方の個人情報、今回の催し以外で使用することはありません。				



HPの「申し込み特設サイト」から申し込みください。

「ぎふの田舎へいこう推進協議会」会員サイト「各種イベント」にあります

<https://gifuina.com/event/p-13668/>

2 メールでお申し込みください。

Eメール green@gifuina.com

*メールの件名を「ぎふ GIN 大会申込」としてください。

3 FAXでお申し込みください。

FAX 0575-87-0131

4 申込べ切 第1次べ切：11月17日(月)
第2次べ切：12月1日(月)

*第1次べ切で定員いっぱいになった場合には、第2次の募集はありません。



第1次べ切
2025
11/17(月)

第15回

ぎふグリーンツーリズム ネットワーク大会 in えな

2025

参加者
募集中
定員100名
先着順



農泊で
地域の未来を
プロデュースする

テーマ

地域を動かすって何だろう?人を動かすって何だろう?変わらないうちで地域が、少しずつ未来に向かって扉を開けはじめる...今年度の大会テーマは、地域の未来を拓くプロデュース力について考えます。



恵那市 岩村
コミュニティ
センター

開催地

今年度の大会は、恵那市の南、恵南(けいなん)地区(岩村町、山岡町、明智町、車原、上矢作町)を中心に開催します。のどかで美しい里山の風景が広がる恵南地区に集まり、共に学びましょう!



開催日

2025年
12月8日(月)
~12月9日(火)

(一社) ぎふの田舎へいこう推進協議会

主催

一般社団法人
ぎふの田舎へいこう推進協議会

後援

岐阜県/恵那市/東海農政局
一般財団法人 都市農山漁村交流活性化機構
一般社団法人 日本ファームステイ協会

協力

SATOYAMA×FARM×SCHOOL 山里家耕
体験民泊&キャンプ場しらたか
(株)クリエイティブファーマーズ

農泊で地域の未来もプロデュースする！

かけがえのない暮らしを、笑顔をつなぎたい！



岐阜県では、豊かな自然とその恵みに育まれた農林漁業や伝統文化を地域資源ととらえ、それらを活かした農泊を積極的に推進してきました。

近年その取り組みは移住者をはじめとする若い世代へと裾野を広げ、新しい担い手による暮らしの創造と連動して新しい農泊が胎動を始めています。それは、農山村の魅力の再発見と再構築をもたらし、都市に住む方々へのライフスタイルの提案やインバウンドの新しい受入先へと可能性を広げています。

本大会では、地域資源を活かし、地域連携を深めながら、課題解決の先頭に立つ地域プロデューサーに焦点をあて、地域と共に課題解決に向かう農泊の新しい姿を浮き彫りにして、参加者と共に学び合います。

12.8[1日目] 基調講演



講師：本田 節

熊本県球磨郡相良村出身 / 「郷土の家庭料理ひまわり亭」「食・農・人総合研究所リュウケンカ」の郷代表。30年以上食をテーマに地域を盛り上げる活動に従事しながら、次世代の農業農村を担う人材育成にも奮闘している。

地域と、地域の宝もプロデュース！

熊本県人吉市に27年前に建てたレストラン「ひまわり亭」を起点に、地元の女性たちと共に郷土料理の伝承やグリーンツーリズムの推進に力を入れてきた。しかし、「令和2年7月豪雨」で、集落丸ごと全壊。ひまわり亭もテーブルや椅子はもちろん厨房設備など全てが被災した。しかし、4日後には「被災者でも支援者に！」を掲げ、ボランティアの先頭に立つ！困難に直面しても怯むことなく地域を先導する本田節さんの不屈のプロデュース力に学びます。

12.8[1日目] 大交流会 恵南饗宴 ～地のもの大集合～

1日目の夜には、地元の美味しい料理とともに、講師陣、参加者のみなさんと語り合う大交流会を催します。

※恵南5町の美味しいものをギューグッと詰め込んだ郷土の味をご賞味ください。この機会に、たっぷり交流しましょう！



※恵南（旧東郷郡の南郷一帯を指す）5町（岩村町、山岡町、明智町、車庫、上天作町）

12.9[2日目] パネルディスカッション

「フィールドワーク」「分散交流会」の3つのグループでそれぞれ学んだ内容を、各エスコーターのみなさんがスライドとともに報告します。参加できなかったグループの内容を全体で共有して、共に深めます。



※道の駅「山岡・おばあちゃん市」の巨大大回り車

フィールドワーク & 分散交流会のエスコーター紹介

農村をプロデュース！



Escorter 石川 右木子

株式会社クリエイティブファーマーズ代表取締役。いちごやトマトなどの作物栽培のみならず、自社農園の作物や地域の生産物を活用したカールバームクッキーへの製造販売など6次産業化にも果敢にチャレンジしている。

フィールドワーク

エスコーターの方々と共に歩き、現場で学び考えます。

分散交流会

フィールドワークで感じたことや、疑問を率直に語り合い深めます。

12.8[1日目] 第1 フィールドワーク

トマトとイチゴが地域の光に！農村の元氣もプロデュース！

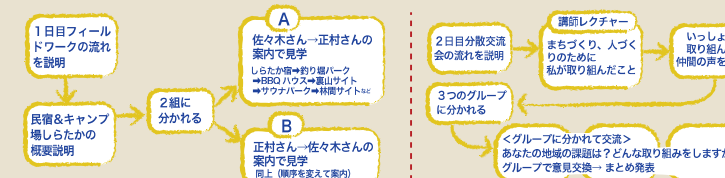
「新商品ができるたびに『売れすぎたらどうしよう！』と妄想してしまいます。ターゲットは自分。自分から心算したいと思うことをやるようにしています」と語る石川さん。自分の元氣が地域を元氣にする原動力。地域資源を活かして地域の人たちの巻き込みながら新しい課題にチャレンジを続ける石川右木子さんの取り組みに学びます。



12.8[1日目] 第2 フィールドワーク

地域課題が人もつながる！まちの元氣もプロデュース！

「私の取り組みは、成功体験ではありません。社会の変化、地域の変化に対応しようと動くことが、結果として人をつなぎ、様々な取り組みを生んでいくだけなんです」と語る佐々木さん。そこには「わが街」の魅力を失いたくない、次世代へつなげたいという熱い思いがあります。人をつなぎ課題解決へと導く、佐々木さんの取り組みに学びます。



12.8[1日目] 第3 フィールドワーク

全国の仲間とつくるコミュニティ型農泊もプロデュース！

「高齢化した農山村で、若い世代が「なりわい」をつくることはとてもしんどいことです。コミュニティ型農泊は、そうした中でたどり着いた私たちの「新しい百姓」像かもしれません」と語る安藤さんご夫婦。農を身近に感じながら豊かに暮らしたいという願いを共有する全国の仲間たちと繋がって取り組む農泊について、安藤さんご夫婦に学びます。

